

北海道日本ハムファイターズの新球場移転に関する考察

社会学部現代社会学科 1822068

指導教員 広岡勲

氏名 早川もも

要旨

本論文では、北海道日本ハムファイターズが、現在本拠地をおく札幌ドームから北広島市の新球場に移転することで、観客動員数を増やせるかという問いに着目し、新球場移転に関する考察をまとめることを目的とする。

第一章では、北海道日本ハムファイターズの新球場移転の背景について述べた。新球場移転の現状や完成予定の周辺施設の詳細、主な移転理由に言及した。

第二章では、プロ野球の観客やファンに関する先行研究をもとに、北海道日本ハムファイターズの新球場移転について言及した。また、先行研究の調査により、分かったことからファイターズの新球場移転の考察において着目すべき点を挙げ、研究の目的を述べた。

第三章では、アンケート調査およびインタビュー調査の方法・目的について記した。ファンの行動分析を目的としてファイターズファンを対象に実施したアンケート調査の内容、新球場建設の現状や目的として行ったインタビュー調査について記した。

第四章では、アンケート調査およびインタビュー調査の結果を記した。アンケート調査では、242人から回答を得られ、各項目の回答の割合をまとめた。インタビュー調査では、北海道日本ハムファイターズ統括本部長にインタビュー調査を行い、その内容を記した。

第五章では、アンケート調査およびインタビュー調査において明らかになったファンの行動の変化や球団の取り組みをもとに、北海道日本ハムファイターズの新球場移転に関する考察を述べた。

第六章では、考察を踏まえ、本論文の目的に対する結論を述べた。また、今後の課題にも触れ、最終的な考察を記した。